

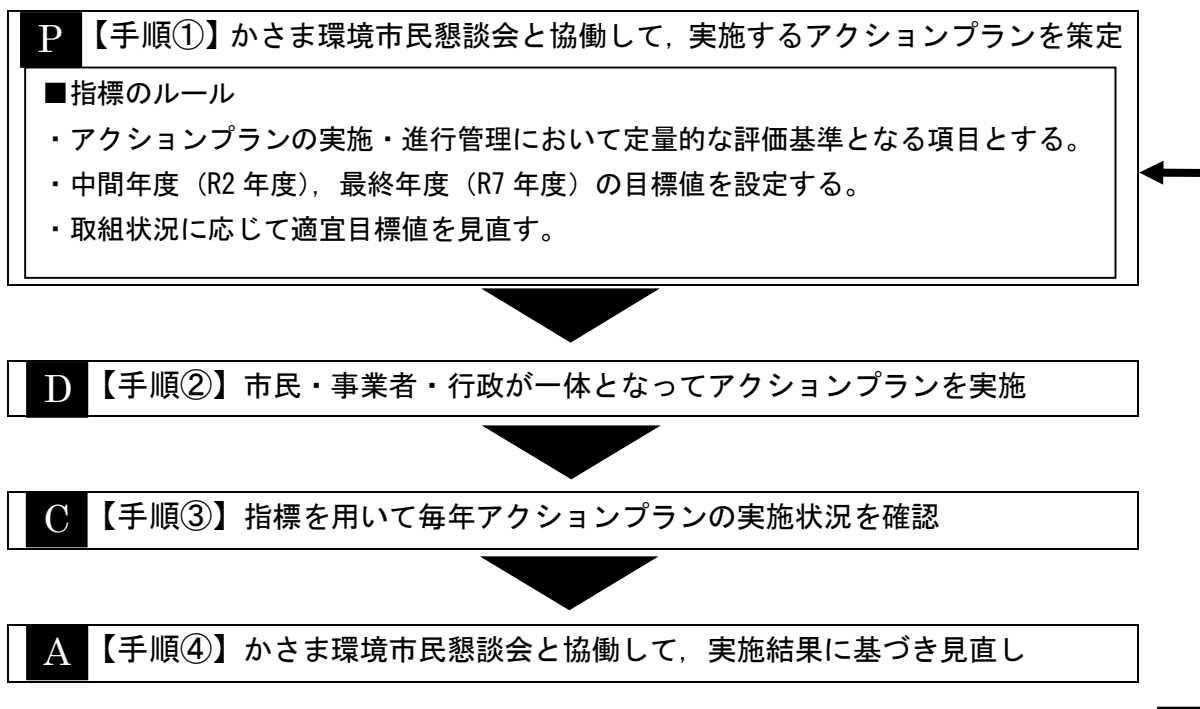
第2章 笠間市が力を入れる重点事業

1. アクションプランの位置づけとねらい

重点事業を実行する活動計画として、アクションプランを導入します。アクションプランは、重点事業（かさまエコプロジェクト）を実行する活動計画です。アクションプランは、市が「かさま環境市民懇談会」と協働して毎年、策定・見直しを行い、本市の環境状態や取組状況，社会情勢に応じた取組内容とするとともに，多くの主体の意見を取組へ反映します。

2. アクションプランの運用方法

次の手順に従って，アクションプランを運用します。



3. アクションプラン検討・策定の視点

次の視点に基づいて，笠間らしく環境を保全・創造するアクションプランを策定する。

- 1) 笠間市の特徴や環境問題からみて，特に**重点的な推進が必要**と考えられる取組。
- 2) 市民や事業者などの関心が高く，**発展的な行動や波及効果が期待できる**取組。
- 3) **市民や事業者と行政が協働して**取り組んでいく取組。
- 4) **笠間らしさや笠間の魅力**を引き出すような創造的な取組。

4. 重点事業の内容

重点事業	ねらい	個別の取組
[自然再生・保全] 1. 自然共生プロジェクト	・市の自然環境状況の把握及び再生・保全活動を通じて、生物多様性を維持する豊かな自然環境を創造します。	1-1 かさまの自然環境調査
		1-2 かさまの自然再生
		1-3 生物多様性保全推進
[まち美化・不法投棄対策] 2. すみよいまちづくりプロジェクト	・環境美化を行うとともに、マナーの向上を図り、美しく快適な過ごしやすいまちを形成します。	2-1 かさま環境美化里親制度普及
		2-2 マナー向上推進
[3Rの推進] 3. 資源循環型まちづくりプロジェクト	・ごみの減量化及びリサイクルを実施することにより3Rを推進し、資源を循環利用するまちを形成します。	3-1 エコクッキング推進
		3-2 リサイクル促進
[温暖化対策の推進] 4. ストップ温暖化プロジェクト	・日常生活や事業活動における取組や森林整備を実施し、市全体で二酸化炭素の排出量を削減します。	4-1 かさまの森林（もり）推進
[環境教育・学習・活動の促進] 5. 環境学習・環境保全活動促進プロジェクト	・環境教育・学習や活動の場の提供を通して、市民・事業者が主体的に環境保全に取り組む体制を形成します。	5-1 主体的な環境教育促進
		5-2 市民環境学習促進
		5-3 市民環境活動促進

【自然再生・保全】 1. 自然共生プロジェクト

1-1 かさまの自然環境調査

〈ねらい〉 自然環境調査を通じて、本市の自然環境の状態を把握し、保全活動の参考とします。また、市民・事業者へ情報提供、周知することにより啓発を行い、市の自然環境へ関心を持ってもらい、保全活動への意識醸成を図ります。

〈実施事業〉 自然環境調査結果を発表しよう！

取 組 指 標	現状(H27)	中期(R2)	長期(R7)	平成 30 年度
自然環境調査の実施回数	年4回	年4回	年4回	年4回
年次報告書への記載	年1回	年1回	年1回	年1回

実施内容

自然環境調査結果を取りまとめ、年次報告書に記載したり、環境イベント等で発表し広く公表します。

■ 5月(北山公園～天神の里)

この地域は、友部丘陵の南端部を形成し、山林、沢、湿地などが自然の姿に近い良好な状態に保たれています。公園内には湿性生態園やアヤメ・ショウブ園があり、ミズバショウをはじめ、アヤメ、ハナショウブ、カキツバタなど多くの湿性植物が植栽されており、四季折々の花を楽しむことができます。また、南東の天神池周辺に「ビオトープ天神の里」が整備されています。

調査で確認した主な植物〔5月8日〕

○花が咲く（種子）植物

コアジサイ（アジサイ科）、サイハイラン（ラン科）、ノアザミ（キク科）など226種

○シダ植物

クラマゴケ（イワヒバ科）、ジュウモンジシダ（オシダ科）など33種

○地衣類

ウメノキゴケ（ウメノキゴケ科）、コモジゴケ（モジゴケ科）など14種。



コアジサイ



サイハイラン



ジュウモンジシダ

■ 7月(鳥居松林道)

鳥居松林道は、吾国山(518m)の東で、唐桶山(232m)の西側を流れる小川に沿って南下する林道で、シラカシやコナラにケヤキ、ホオノキ、アカマツ、クリ、ヒノキなどの混交林となっています。

また、アキカラマツ、アキノタムラソウ、サラシナショウマなど貴重な自然が残っています。

調査で確認した植物〔7月5日〕

○花が咲く(種子)植物

アキノタムラソウ(シソ科)、イヌショウマ(キンポウゲ科)、ウバユリ(ユリ科)、ダイコンソウ(バラ科)など115種

○シダ植物

ゼンマイ(ゼンマイ科)、ナガホノナツノハナワラビ(ハナヤスリ科)など27種

○地衣類

ウチキウメノキゴケ(ウメノキゴケ科)、コモジゴケ(モジゴケ科)など5種



アキノタムラソウ



ダイコンソウ



ナガホノナツノハナワラビ

■ 9月(野口池)

野口池は岩間地区の東部に位置し標高30m程度の平地にある低層湿原とアカマツ・コナラ・クヌギの二次林、スギ・ヒノキの植林からなっています。

湿原は、平均幅約45m長さ約500mと東西に細長く、面積は2.29haで関東ローム層の堆積期に南側部分の隆起現象により形成され、第4氷河期、後氷期を経ることにより温暖地、寒冷地の植物が共に生育している。また、スギ・ヒノキの植林地は湿原の水源となっており、湿原内には数箇所の湧水が存在し、湧水によって水温及びPHが一定に保たれています。

湿原内には、ミズオトギリ・クサレダマ・イトイヌノハナヒゲ・ヒナノカンザシなどが低層湿原の群落をなし、250種以上の維管束植物が生育しています。

また、湿原最西部からヒノキ植林にかけて、北方系シダ植物のヤマドリゼンマイと南方系のウラジロが同所的に生育し、学術的にも貴重な地域です。

調査で確認した植物〔9月7日〕

○花が咲く(種子)植物

ミズトンボ(ラン科)、サワギキョウ(キキョウ科)、サワヒヨドリ(キク科)、モウセンゴケ(モウセンゴケ科)など107種

○シダ植物

オオベニシダ（オシダ科）、フユノハナワラビ（ハナヤスリ科）など11種

○地衣類

コモジゴケ（モジゴケ科）、ツブダイダイゴケ（ダイダイゴケ科）2種



サワギキョウ



サワヒヨドリ



ミズトンボ

■ 11月(難台山)

難台山（553m）は、「吾国・愛宕県立自然公園」の中央部に位置し、山麓にはスズランの群生地があることで知られ、山頂付近にはブナが多数生育しています。主な植生は、ブナ群落、イヌシデ・アカシデ群落、アカシデ・コナラ群落、アカマツ植林、スギ・ヒノキ植林などに分けられます。

また、愛宕山～吾国山につながるハイキングコースが整備されています。

調査で確認した植物〔11月13日〕

○花が咲く（種子）植物

フユイチゴ（バラ科）、ヤクシソウ（キク科）、ミヤマシキミ（ミカン科）など111種

○シダ植物

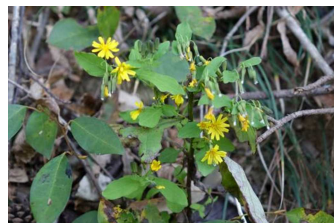
ウラジロ（ウラジロ科）、ゼンマイ（ゼンマイ科）、リョウメンシダ（オシダ科）など36種

○地衣類

ハナゴケ（ハナゴケ科）、ヘリトリゴケ（ヘリトリゴケ科）、モジゴケ（モジゴケ科）3種



ミヤマシキミ



ヤクシソウ



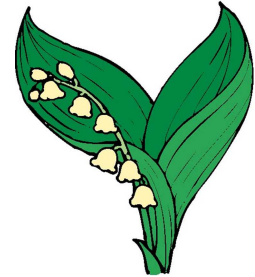
ウラジロ

※科名は「植物分類表」2011年に拠る。

＜評価・課題＞

市域に生息・生育する植物の状況を把握するため、茨城県環境アドバイザー協力のもと自然環境調査を計画どおり実施しました。

また、茨城県環境アドバイザー2名を講師に招き、自然観察会を4回開催しました。募集定員延べ120名に対し、参加者は81名と少なく、参加者増に向けて課題が残りました。



第1章の関連する施策:地域の生態系の把握(P6), 自然とのふれあいにおけるマナー向上・自然保護意識の高揚(P6), 自然公園の保全・活用(P8), 体験型学習機会の充実(P29)

1-2 かさまの自然再生

〈ねらい〉 市内の里地里山や河川・ため池を対象に市民、事業者と協働により生態系を考慮した整備を行うことで、本来の自然環境を再生し持続的に保全を行います。また、再生・保全した自然資源を活用し、さらなる保全の推進を図ります。

〈実施事業〉 ビオトープを活用して自然体験学習に参加しよう！

取 組 指 標	現状(H27)	中期(R2)	長期(R7)	平成 30 年度
ビオトープ整備	7ヶ所	7ヶ所	7ヶ所	6ヶ所
水辺観察会など自然体験学習イベントの実施回数	5回	5回	5回	5回

- ・天神の里・北山公園ゲンジボタルの里・友部小学校・土師みずほの会
- ・駒場ホテルの里・南指原ほたるの里

※関戸環境の会【めだか池】が廃止となりました。

実施内容

自然再生事業により整備した、ビオトープの適切な活用を促進するとともに、水辺観察会など自然体験学習イベントを開催します。

① ゲンジボタル観察会(ビオトープ天神の里周辺)

6月9日(土) 47人参加



ゲンジボタルの説明を受けたあと、観賞しました。ゲンジボタルの飛翔数は20匹ほどでした。ヘイケボタルやクロマドボタルの姿も見ることができました。雨が強くなってきたため、早めの解散となりました。

② 昆虫観察会(ビオトープ天神の里)

7月7日(土) 8人参加

昆虫について説明を受けたあと観察しました。羽化したばかりのニイニイゼミやカブトムシなど観察することができました。

また、アリを研究されている先生が参加されておりアリについて解説して頂きました。



③ 夜の昆虫観察会（ビオトープ天神の里）

7月21日（土）20人参加



昆虫について説明を受けたあと、ヘイケボタルなどの昆虫観察を行いました。ヘイケボタルや羽化したばかりのヒグラシゼミ、カブトムシやクワガタなどを観察することができました。

④ 天神の里釣り大会（ビオトープ天神の里）

8月4日（土）子ども17人

保護者15人参加

竹を使った自作のつり竿で、淡水魚のフナやクチボソなどを釣り上げ、在来魚の観察を行いました。小魚の釣果は、フナ、クチボソなど合計32匹でした。



⑤ 里山ウォーク(天神の里駐車場～長畑池～北山公園～白鳥湖～飛龍神社～天神の里～天神の里駐車場)

10月6日（土）10名



秋の自然を感じ、全長8kmのコースを小学生を含め、予定の行程を全員無事に完歩しました。

《参考》

北山公園ホタル観賞会

6月30日（土）646名

7月7日（土）411名



＜評価・課題＞

ビオトープは、市民団体等が主体となって維持管理を行っています。市民団体と協働でビオトープ天神の里を活用した自然体験学習イベントを開催しました。その他、各地域主体で、遊休農地や河川等を利用した自然観察会が開催されました。

今後も、市民団体等と連携・協力して、豊かな自然環境の保全・再生に努めていきます。

第1章の関連する施策：親水空間の整備(P2)、生物の生息空間の保全(P6)

1-3 生物多様性保全推進

〈ねらい〉 生物が生息しやすい空間を整備することで、多くの生物が生息・生育できる環境を形成し、生物多様性を保全します。また、外来生物に対して「入れない・捨てない・拡げない」を実施することで侵入・拡散を防ぎ、在来生物の生息・生育の保全を図ります。

〈実施事業〉 オオキンケイギクを抜き取るぞ！

取 組 指 標	現状(H27)	中期(R2)	長期(R7)	平成 30 年度
オオキンケイギク処分量	640kg	650kg	650kg	660kg
参加者数	94人	110人	130人	142人

実施内容

市民団体等と協働で、特定外来生物であるオオキンケイギクの抜き取り作戦を実施します。

●かさま環境を考える会やごみを考える会などの市民団体等と協働で、特定外来生物である「オオキンケイギク抜き取り作戦」を5月26日（土）に実施しました。

抜き取り作業は、8班に分かれて17団体（142名）が参加し660kg（450袋で190袋）を抜き取ることができました。



団体名	参加者数	団体名	参加者数
常陽ボランティア倶楽部	29名	イオン笠間店	3名
NEXCO東日本	4名	岩倉緑化産業	1名
エチオピア未来の子供	3名	第一東宝ランド自治会	11名
茨城トヨタ自動車	6名	かさま環境を考える会	14名
ハタヤ商事	5名	ごみを考える会	11名
茨城電通	2名	茨城県	1名
写真家集団グラフィカ	3名	笠間市役所	28名
笠間工芸の丘	4名	一般参加者	3名
あたご四季の会	14名		

〈評価・課題〉

オオキンケイギクの抜き取りを継続して行っている場所は、着実に成果が表れています。一方、オオキンケイギクと分らずに家庭の庭で植栽されている方も見受けられます。

今後も、市民に対してオオキンケイギクなどの特定外来生物について、普及・啓発を行いながら生態系の保全に努めていきます。

第1章の関連する施策:野生動植物の適切な保護・管理(P6)

【まち美化・不法投棄対策】

2. すみよいまちづくりプロジェクト

2-1 かさま環境美化里親制度普及

〈ねらい〉 かさま環境美化里親制度や花いっぱい運動をはじめとする清掃活動や花壇づくりに、市民・事業者が主体的に取り組むことで、市内の環境美化がすすんだすみよいまちづくりを図ります。

〈実施事業〉 環境美化活動団体大募集！

取 組 指 標	現状(H27)	中期(R2)	長期(R7)	平成 30 年度
道路里親制度実施箇所数	43箇所	48箇所	53箇所	42箇所
グリーンパートナー制度実施箇所数	5箇所	7箇所	9箇所	4箇所

実施内容

市が管理する公園や道路などの公共スペースについて、近隣の市民や事業者の方々が、市に代わって清掃や美化活動を実施し、協働でまちの美化を推進します。

●道路里親制度では、道路を「里子」に、沿道のボランティア団体などを「里親」に例えて、住民と行政が協力し道路の清掃（ゴミ拾い）や除草・花壇の手入れなどを行うなど、美しい潤いある道路環境づくりの推進、制度の普及啓発に努めています。

道路里親団体一覧(県道)

No.	団体名	活動路線	活動延長
1	笠間市岩間地区日赤奉仕団	国道 355 号(下郷地内)	1.5km
2	土師ひゃくしょう塾	県道水戸岩間線(土師地内)	1.0km
3	ひまわりの会	県道茨城岩間線(安居地内)	1.5km
4	まちづくり宍戸塾	県道大洗友部線(平町地内)	1.0km
5	下市毛まちづくり同好会	県道笠間つくば線(第2踏切付近)	1.3km

道路里親団体一覧(市道)

資料提供 管理課

No.	団体名	活動路線	活動延長
1	あたご四季の会	市道(岩) I 級 1 号線	1.5km
2	岩間山の会	市道(岩) I 級 1 号線	1.0km
3	山根南会	市道(岩)西 485 号線外	1.8km

4	岩間東町一区	市道(岩)Ⅱ級11号線外	0.5km
5	日吉町区一班	市道(岩)Ⅰ級6号線外	0.9km
6	日吉町区二班	市道(岩)中330号線外	1.4km
7	日吉町区三班	市道(岩)中133号線外	0.7km
8	日吉町区四班	市道(岩)Ⅰ級6号線外	1.1km
9	日吉町西区	市道(岩)Ⅱ級11号線外	0.6km
10	吉岡二区	市道(岩)中331号線外	0.7km
11	春日町はなみづき	市道(岩)中330号線外	0.6km
12	春日町さくら	市道(岩)中330号線外	0.5km
13	ひまわりクラブ	市道(岩)Ⅱ級6号線外	2.9km
14	春日町一区	市道(岩)中330号線外	0.6km
15	寺平地区	市道(笠)4138号線	1.0km
16	吉岡一区	市道(岩)中330号線外	0.6km
17	宮前交遊会	市道(友)1317号線	0.6km
18	下市毛まちづくり同好会	市道(笠)2205号線外	1.8km
19	本戸荒牧自治会第一班	市道(笠)0230号線	0.6km
20	本戸荒牧自治会第二班	市道(笠)3385号線	0.5km
21	本戸荒牧自治会第三班	市道(笠)3384号線	0.5km
22	本戸荒牧自治会第四班	市道(笠)3372号線	0.5km
23	NP0法人ビオトープ天神の里を作る会	市道(友)2級4号線	0.7km
24	旭町西区会	市道(岩)中122号線外	0.5km
25	51区新谷地区里親会	市道(笠)0110号線外	1.0km
26	第28区第1班	市道(笠)1210号線外	0.6km
27	第28区第2班	市道(笠)0118号線	0.6km
28	第28区第3班	市道(笠)1316号線	0.9km
29	吉岡一区絆会	市道(岩)中184号線外	1.0km
30	みずほパトロール隊	市道(笠)0106号線	0.6km
31	ギャラリーロード商店会	市道(笠)2336号線	2.0km
32	自然環境美化推進会議	市道(笠)0112号線	0.5km
33	倉作道路里親会	市道(笠)1157号線外	2.1km
34	本戸鍛冶屋組	市道(笠)0112号線	0.9km
35	香取会	市道(友)1級3号線	1.3km
36	第77区 田利組合	市道(笠)0230号線外	4.0km
37	住吉大沢水利組合	市道(友)1級8号線外	0.9km

●「笠間市都市公園グリーンパートナー制度」による、市民の自主的な都市公園の美化活動を推進し、親しみやすい公園にするため、グリーンパートナー協力団体の拡充に努めます。

グリーンパートナー制度実施団体一覧

資料提供 管理課

No.	公園名	団体名	面積
1	いなだふれあい公園	神田自治会	1,150 m ²
2	鯉淵公園	柿橋総区	5,641 m ²
3	友部駅前児童公園	仲町区	2,868 m ²
4	城南やきもの通り公園	第16区	1,701 m ²

<評価・課題>

道路里親制度については、制度の内容説明を求める団体はありましたが、新規加入団体はありませんでした。今後も、道路里親制度の普及に努め、地域の方々による道路の清掃・美化等の促進を図るなど、地域と行政の協働による道路環境づくりを推進します。

グリーンパートナー制度についても、新規実施箇所はなかったため、制度の普及・啓発をより一層進めていく必要があります。

第1章の関連する施策:みどりのまちづくりを支える体制づくり(P9)、環境美化活動の推進(P14)

2-2 マナー向上推進

〈ねらい〉 ポイ捨てや不法投棄，家庭騒音について，マナー学習や啓発活動を行うとともに，ルール徹底や笠間市すみよい環境条例の周知を行い，市全体のマナー向上を図ります。

〈実施事業〉 環境美化マナーについて学ぶぞ！

取組指標	現状(H27)	中期(R2)	長期(R7)	平成30年度
イラスト応募数	—	170件	200件	46件

実施内容

環境教育の一環として，市内小中学校において環境美化マナーを守ることの大切さについて学ぶことを目的に，「ゴミのポイ捨て防止」や「犬のフンマナー」のポスターを募集し，優秀作品については，環境イベントで表彰します。

●市内（小学校10校・中学校5校・義務教育学校1校）合計16校に，夏休み選択式の宿題として募集しました。応募総数46件の中から6件を優秀賞として選定し，10月13日（土）に開催した「かさま環境フェア2018」にて表彰を行いました。



小学生の部 最優秀賞



中学生の部 最優秀賞

〈課題・評価〉

「不法投棄」「犬のフン防止」をテーマにポスターを募集しましたが，応募件数が昨年度より減少しました。応募者数に課題は残りましたが，小中学校生の時期から環境美化やマナーを守ることの大切さについて，意識することは大切なことであるので，今後も継続していきます。

第1章の関連する施策：近隣に配慮したマナーやルールの普及(P14)

【3R の推進】

3. 資源循環型まちづくりプロジェクト

3-1 エコクッキング推進

〈ねらい〉 食を通じて「身近な題材で環境問題を体験的に楽しく考える」というコンセプトのもと、買い物から料理、片づけに至るまでの一連の流れを通じて環境に配慮する食生活をする事です。このような食を通じた環境保全の取り組みを推進します。

〈実施事業〉 エコクッキングに参加しよう！

取 組 指 標	現状(H29)	中期(R2)	長期(R7)	平成 30 年度
エコクッキング参加者数	21人	50人	50人	24人

実施内容

市民団体と連携し、エコクッキングを通じて、こどもたちに環境への関心を高めてもらうため開催します。

●市民団体（ごみを考える会）主催により、笠間市友部社会福祉会館を会場に開催しました。

開 催 日 平成30年7月8日（土）

＜評価・課題＞

市民団体が企画・開催することもエコ教室への支援を通じて、食品ロスの削減に対する意識の高揚を図りました。

今後も、広報等により食品ロスの削減をはじめとするごみの発生抑制（Reduce/リデュース）及び再使用（Reuse/リユース）を促進し、ごみの減量化に取り組むとともに、消費者と事業者が連携した資源循環型まちづくりの構築と環境にやさしいライフスタイルの確立を目指していきます。

第1章の関連する施策:家庭や学校における地球温暖化対策の普及促進(P26), 市民・事業者への環境学習の促進(P29)

3-2 リサイクル促進

〈ねらい〉 再使用されない、再使用された後に廃棄されたごみについて、効率的に回収し、ものづくりの原料として再生利用（Recycle/リサイクル）したり、焼却時の熱エネルギーとして活用することで資源の循環・促進を図ります。

〈実施事業〉 資源物のリサイクルに取り組もう！

取 組 指 標	現状(H27)	中期(R2)	長期(R7)	平成 30 年度
資源物分別回収 (集団回収)量	966t	1, 000t	1, 000t	703t
廃食用油回収量	1, 470ℓ	1, 500ℓ	1, 600ℓ	2, 520ℓ
小型家電回収量	37kg	40kg	40kg	610. 5kg

実施内容

子ども会等で実施している資源物分別回収や、家庭から排出される廃食用油の回収、鉄やレアメタルといった有用な金属を含む小型家電の回収等に継続して取り組むことで、資源物のリサイクルを推進します。

●本所（環境保全課）、各支所地域課の窓口において資源物を回収し、資源の循環を図りました。

資源物品目(17品目)

ダンボール	新聞紙	雑誌類
布類	アルミ缶	スチール缶
ポリケース	ビール大瓶	ビール中瓶
ビール小瓶	ビール特大瓶	一升瓶ケース
一升瓶	雑瓶 4 合瓶	雑瓶 2 合瓶
ジュース類瓶	廃食用油	

小型家電対象品目(31品目)

デジタルカメラ	ゲーム機	ACアダプタ
計算機	電子手帳	携帯音楽プレーヤー
ビデオカメラ	携帯電話・スマートフォン	カーナビ
ラジオ	ルーター・スイッチ	ICレコーダー
補聴器	磁気ディスク装置等	電子書籍端末
パーソナルコンピューター (ノートブック型)	タブレット端末（PCリサイクルマークのないもの）	ポータブルDVD・BDレコーダ/プレーヤー
ゲームソフト（CD・DVDを除く）	電子体温計	電気式温湿度計
電子式ヘルスメーター	電子式ベビースケール	デジタル歩数計
フィルムカメラ	ヘアードライヤー	電気かみそり
電気脱毛器	電動歯ブラシ	電子時計
電気時計		

＜評価・課題＞

資源物・廃食用油・小型家電を回収し、資源を循環することができました。今後も、リサイクルできる資源物について回収し、資源の循環利用を推進していきます。

第1章の関連する施策: 資源の循環利用の推進 (P24)